

2021多文化アート展 ～筆と墨～

応募作品集



▶ テーマ Free Your Heart of Borders
～心の国境をなくそう～

▶ 対象 外国にルーツを持ち、佐賀県にゆかりのある人

▶ 募集期間 2021年9月15日～11月15日

▶ 応募作品数 81点

▶ 入賞作品数 7点



▶ 審査員

- ・佐賀城本丸歴史館 副館長 古川英文氏【審査員長】
- ・小城市教育委員会文化課 学芸員
(小城市立中林梧竹記念館 前館長) 古庄秀樹氏
- ・佐賀新聞社 記者 古賀史生氏
- ・佐賀県国際課 国際交流員 ファン・トゥイット氏
- ・佐賀県国際交流協会 理事長 黒岩春地

🏆 受賞者一覧 🏆

多文化アート金賞

ジョシー アン クラークさん
(イギリス)

多文化アート銀賞

オリヴィア フェブリアンティ リムさん
(インドネシア)

多文化アート銅賞

デルベル モハメド ラミーさん
(チュニジア)

SPIRA賞 (特別賞)

クク ミジンさん (韓国)

蔡亞書さん (台湾)

ファム ティ オアインさん (ベトナム)

ボウン ミヤイン モさん (ミャンマー)



多文化アート金賞



作者のコメント

私が「家族」と書いたのは、佐賀での生活が私に「家族には様々な形がある」ということを教えてくれたからです。コロナのパンデミックのため、私はイギリスに住む家族に2年以上会っていません。でもここ佐賀でできた出身国の違う友達たちを通して、家族を持ったような気がしています。私たちはみな出身国は違いますが、私たちの心はここ佐賀でお互いを見つけ、知り合うことができました。

審査講評

「家族」というちょっと小さい社会を見つめ、そして考えることによって、その心はより大きな社会に広がっていくような気持ちにさせる作品です。「漢字」という世界の一部の人が使っている文字で書かれているけれど、そのまじめな書きぶり、やさしい筆づかいによって、漢字を知らない人が見てもやすらぎが感じられる作品です。



多文化アート銀賞



作者のコメント

“Free Your Heart of Borders”「心の国境をなくそう！」佐賀県国際交流協会の理事長の言葉を、いろいろなデザインで書いてみました。

審査講評

デザインがすばらしく、とてもよくまとまったきれいな作品です。さまざまな花の絵や模様を丁寧に描きこむ作業は、作者の願いの時間だったのかもしれませんが。文字にデザインされたギザギザや穴は、みんながしっかりつかまりあうための把手（とって）なのかもしれません。



多文化アート銅賞



作者のコメント

アラビア語の意味は「風の鳥のように自由に、暁の光のように自由に創造された」です。チュニジアの詩人であるアブ・アルカシム・アルシャビが、チュニジアがフランスの植民地だったとき、自由を取り戻すため人々を動機付ける目的で書いたものです。

審査講評

美しい言葉を書くことをとおして、わたしたちは自分の心を美しく導けるのかもしれません。私たちは生活の中で、みにくい言葉を耳にすることも、あるいは自分が口にすることだってあります。でも、それよりもっとたくさんの美しい言葉を知り、それを書くことによってやすらかになりたい。そのような気持ちにさせる作品です。



SPIRA賞（特別賞）



作者のコメント

「Free your heart of borders」のハングル表記です☺

審査講評

特別に強調することなく、空間全体を使ってのびやかに描いたところに清潔感があふれています。自然にそして明るく描かれていることで、「Free your heart of borders」という言葉が、静かで冷静なメッセージとなって響いています。

 SPIRA賞（特別賞）



作者のコメント

家族みんなで星を眺めて、とても幸せ。

審査講評

わたしたちは子供のころにポスターを持っていたでしょうか。ひとつひとつの線をなれない筆でいっしょうけんめいに描いている姿がとてもかわいらしく浮かんできます。絵の中の2人が手を広げているその先に、みんなで仲良く生きていくしあわせな社会を感じさせてくれる作品です。

 SPIRA賞（特別賞）



作者のコメント

生きることは面倒で悩みが多いです。悩みも全て捨てて自然に生きましょう。そこで私たちは楽な気持ちになれると思います。悩みのない自然な場所を描いてみました。

審査講評

だいたんな線と細かな描写がまざりあって、ふしぎな印象をもたらします。作者が意図したかどうかはわかりませんが、水墨画に描かれたユートピアを思わせます。だれもが安らかに生きる世界をもとめる作者の願いへ、わたしたちを誘ってくれるかのようなのです。



SPIRA賞（特別賞）



作者のコメント

ミャンマーが平和になるように。国民皆の願いが早く叶うように。心の一口。

審査講評

すなおに書いただけのように見えて、その線の中に、とてもやさしく、そして強い思いが感じられます。審査員のあいだでも最も人気が高かった作品です。ミャンマーの人たちだけでなく、この作品を見た多くの人たちがミャンマーのことを知り、そしてその願いを応援するきっかけになってほしいと心から祈ります。

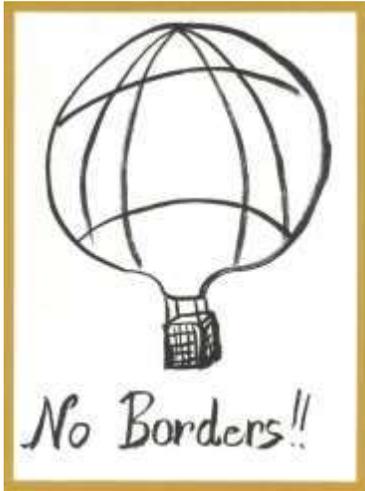


展示会のお知らせ

1. **2022年1月4日～1月31日**
@佐賀商工ビル1階廊下
2. **2022年2月1日～2月9日**
@ゆめタウン佐賀1階イーストコート
(ベスト電器前)
3. **2022年2月17日～3月9日**
@佐賀市立図書館2階ロビーギャラリー



他すべての応募作品は次のページ
よりご覧いただけます。



バルーンは風と共にどこへでも飛んでいけます。ですから、バルーンは国境のない世界を表すものだと思います。また、佐賀は毎年11月のバルーンフェスタの期間中、ボーダーレスな都市になります。

Nicole Sonobeさん (オーストラリア)



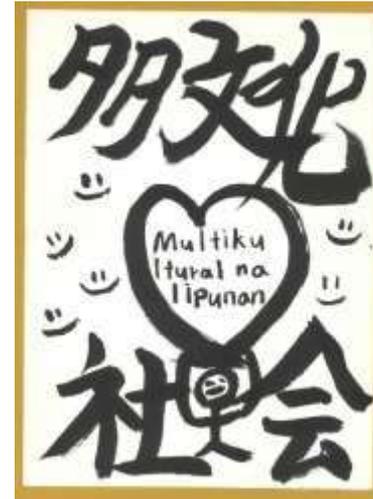
誠実に人と接することで、よい家、美しい家となり、うれしい気持ちで胸がいっぱいになります。

王家盈さん (台湾)



Free your heart of borders! という意味です。

レークアンヒエンさん (ベトナム)



人がハートを持っている様子を描きました。ハートの中の文字はタガログ語で「多文化社会」と書いています。

有吉 夢翔さん (フィリピン)



"仁愛"と"温和"を合わせて"仁和"となります。今は様々な国の文化が行き交う時代です。このような世の中で、違う国々の人々が互いに優しく交流し、助け合っていくことが、みんなで美しい未来を作り出すための重要なことです。

高德さん（中国）



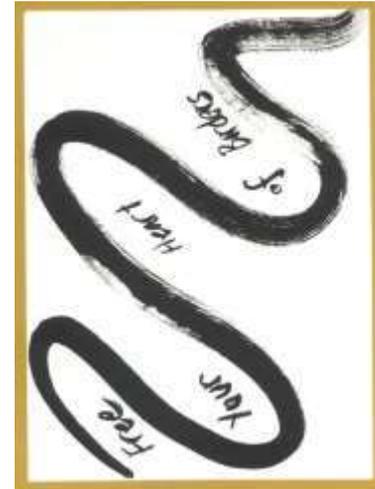
「四海兄弟」は、四つの海（世界）が兄弟のように仲良く愛し合うべきという意味です。テーマにぴったりだったので書きました。

崔 允愛さん（韓国）



愛があれば奇跡が起こるということを信じています。

蔡世豊さん（台湾）



'free your heart of borders'という言葉を書き、水の流れの中に書きました。水はどこへでも自由に広がり動きます。まさに自由のように。

Nicole Sonobeさん（オーストラリア）



愛をたくさん書きました。愛が
いっぱいになるといいと思
います。

鄭雅茹さん（中国）



テーマを絵で表現してみたいと
思ったので、羽のあるこどもを描
きました。大きなハートを持って、
笑顔で、未来に向かって飛んでい
ます。

Rindaさん（インドネシア）



今の季節です。

趙文莉さん（中国）



”气楽”という作品を書きました。
この言葉は大好きです。なぜなら、
人生の中で何があっても悩み心配
しないで、現実を受けとめ、挑戦
して、自分の心を楽しくすればい
いことがあるはずだと信じていま
す。

VU NGOC HAさん（ベトナム）



先生は神様のような存在です。私たちが社会で役に立つ人になるための知識や技術を教えてくれるのは、両親や家族や先生です。私は心から感謝と尊敬していますので、この言葉を書きました。

ファムティオアインさん (ベトナム)



題：私たちは竹
葉があってもなくても、長くても短くても、大きくても小さくても、黄色くても緑でも、私たちはみな同じ、竹、支え合うことで成長する植物です。

Jevri Tri Ardiansahさん (インドネシア)



私の母国は、長い間不公正と不平等に苦しんできました。これは「誰もが自由であり、平等に扱われるべきだ」ということばです。

Erjonさん (コソボ)



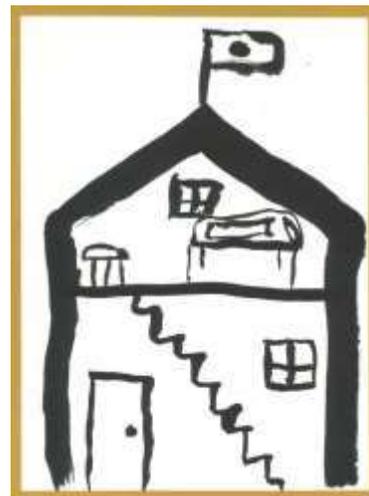
明るくて元気な女の子をかいてみました。ふわふわの雲の上で動物いっしょに遊んでいる所をかいてみました。

王雅慧さん (中国)



皆違って皆いい。
これは金子みすゞさんのとても有名な詩のフレーズです。この世にいる人、誰一人も同じ人はいません。それには文化の違いがあって、同じ国同じ地域の人でも習慣と価値観の違いで私達一人一人が違います。私達一人一人にある違いを認めて、その違いを尊重することで心の国境をなくすことができると思います。

アマルアリさん (パキスタン)



幸せ溢れる日本の家。

蔡亞書さん (台湾)



Love、愛。愛とは説明できないもので、誰も理解できないものだと思います。半紙の荒い面を使って書きました。なぜならば私たちが知っているとおり、愛とはそんなにスムーズなものではないからです。でもとても価値のあるものです。

Erjonさん (コソボ)



「笑顔」と書きました。みんながにこにこ笑顔になれるといいなと思います。

下津浦 茅洋さん (中国)



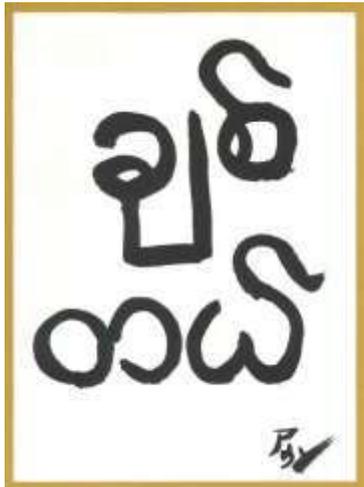
昨年12月に初めて来日し、その1か月間後に日本のお正月を迎えました。主人のお姉さんにお家に招待されました。そこで日本の伝統的な食べ物「鏡餅」を一緒に作りました。遠い国から嫁いできた嫁（私）にとって、楽しい日本のお正月の体験となりました。

楊 盈欣さん（台湾）



「繁荣昌盛」と書きました。世界がどんどんよくなり、繁栄していくことを願って書きました。

鄭 雅茹さん（中国）



愛すること／ချစ်တယ်

Tin Win Aungさん（ミャンマー）



ベトナム語で「心の国境をなくそう」と書きました。

レークアンヒエンさん（ベトナム）



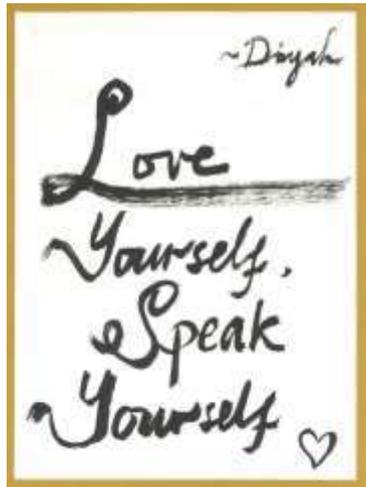
未来の自分に期待し、世界がさらに平和になることを願う。

福島 聡太さん (中国)



どんな小さなことでも努力しないとうまく行かないことを何度も経験したことがありますから、この言葉を選びました。

ガレサリタさん (ネパール)



あなたは他者を愛する前に、あなた自身を愛すべきです。そして、自分自身を愛する方法を学んだ後は「あなたが誰であるか、どこから来たのか、あなたの性別が何であるか、あなたの肌の色が何色であるかに関係なく、あなた自身について話そう」ということを忘れないでください。国籍や文化に関わらず、みな自分自身について話すことができます。

HAKIMATUL UBUDIYAHさん (インドネシア)



インドネシア語で「心」という意味のことばです。

Fahri Nabhanさん (インドネシア)



心善，人善，行善。

高德さん（中国）



「世界平話」と書きました。みんなが、平等に話ができ、仲良くなれる社会をつくれたらいいなと思います。

下津浦 茅洋さん（中国）



今回のテーマに基づいて、中国の文化である水墨画で日本をイメージさせる金魚の絵を書きました。

王惠平さん（中国）



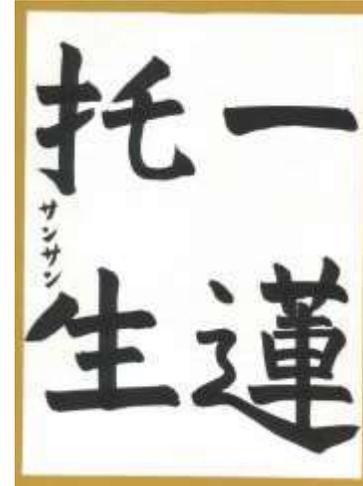
平安喜樂（平穩で喜びがある日々を楽しんで過ごせるように）

蔡世豐さん（台湾）



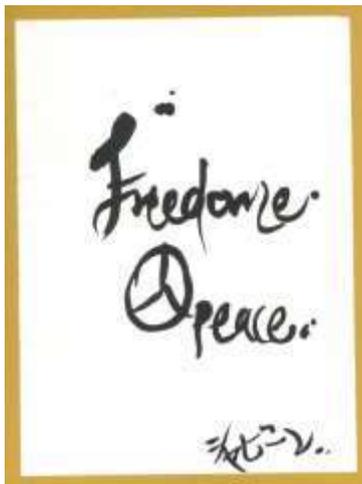
全体は中国語・繁体字の「愛」です。部首や各部分を、日本語・英語・韓国語そしてハート型で書きました。真ん中には「愛」の一部を、本コンテストのテーマで書いてみました。

章潔さん（中国）



この漢字の意味は「同じ船のうえに」です。私は「そんなに大変でも、私たちは同じ世界にいて一緒に戦うことができる」ということを表現したいです。私たちの間に国境などありません。私たちはひとつです！

Myat Htoo Sanさん（ミャンマー）



全ての人に自由を

Shaveen madukaさん（スリランカ）



心が愛に満ちる～人間には無限の希望があると信じています。

王家盈さん（台湾）



'Devanagari lipi' ヒンディー語で「心」という意味です。

Iqbalさん (インド)



「Love」ということばを書きました。私にとって最も大切なことばです。お金を選ぶ人もいますが、私はいつでも愛を選びます。いつか私の愛を見つけたいです。

Rayhan Sabitさん (バングラデシュ)



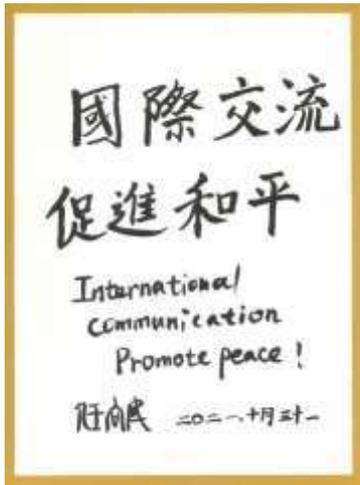
「Wild love」
心の国境をなくすことで、わたしたちはこれまで可能と思えなかったことにも可能性を探ることができます。

デルベル モハメド ラミーさん (チュニジア)



国や人種に関係なく、みんな友達です。

花島 誠也さん (中国)



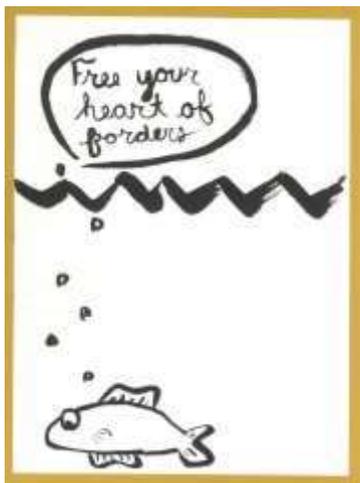
国際間でよく交流したら、平和になります。

Frank/Renxiangminさん (中国)



人から人が生まれる。そこから新しい命、新しい存在、新しい考えが生まれる。その国の文化や考え方によって、その人が出来上がって決まってくる。けれども、人は人です。国の文化が違っていても人はどこへ行っても、どの国で生まれても同じ思いであると思いませんか。悲しい時は悲しい、うれしい時はうれしい、人はみんな一緒。文化を超えても人は人です。人はいつも特別な一人です。Is The only one. Free Your Heart of Borders

Carmina Ruiz De Murakawaさん (メキシコ)



有明海を泳ぐムツゴロウは、深く考え込んでいる。(The mudskipper is deep in thought as it swims the Ariake sea.)

Celia Chambersさん (アメリカ)



「共存共栄」という四字熟語の意味は、二つ以上のものが互いに敵対することなく、助け合って生存し、ともに栄えることです。この四字熟語のように協力しあうことで、心の国境をなくしていけると思ったからです。

崔 要韓さん (韓国)

「日本とベトナム」と書きました。



Phan Thi Binh さん (ベトナム)

「平和共存」と書きました。インターネットで調べて、この言葉が気に入ったので書きました。



山本 綾音さん (フィリピン・韓国)

それぞれの違いから心を解き放とう♡



Veni Oktavia さん (インドネシア)

自由、freedom



タマンラムカジさん (ネパール)

人生の中で一番必要な言葉は愛です。



Tamang Minaさん (ネパール)



コロナのせいで母国に帰ることができず、最後の帰国から2年以上が経ちました。まさにテーマのように、私は母国で一番思い出深い場所であるボロブドゥール寺院を描くことで、心の国境をなくしたいと思いました。私にとっては初めての書道体験でしたが、母国の景色を思い浮かべながら楽しむことができました。

Rindaさん (インドネシア)



地球の中で共に住んでいる私達。自然は何でも豊かに与えてくれてます。太陽も雲も風も鳥も国境なしでどこにでも自由です。太陽の光でしたら人間の影さえも国境を超えられます。人も互いに自然のように豊かに分かち合い、平和でありたいですね。

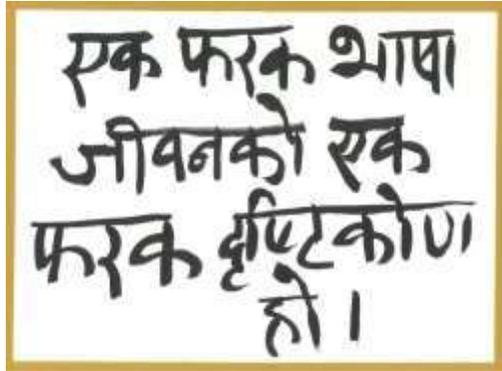
張美永さん (韓国)



「地球是我们的家园」。地球は私たちの家という意味です。

李庚哲さん (中国)

言語が異なれば、人生観も異なります。新しい言語を学ぶことは、新しい世界に行くみたいなおもしろいことです。そして新しい経験にもなります。



パラズリ スニタさん (ネパール)

明るく・優しく・楽しく
「Bright gentle and fun」と書きました。僕のクラスの学級目標は、多文化共生にも必要なことだと思いました。



白濱光瑛さん (フィリピン)

「佐賀」の漢字を辞書で調べてみました。「佐」は「たすける」という意味で、「賀」は「よろこぶ」という意味を持っているそうです。



オリヴィア フェブリアンティ リムさん (インドネシア)

助け合う「Magtulugan」と書きました。みんなが暮らしやすくなるためには、助け合いが大切だと思います。



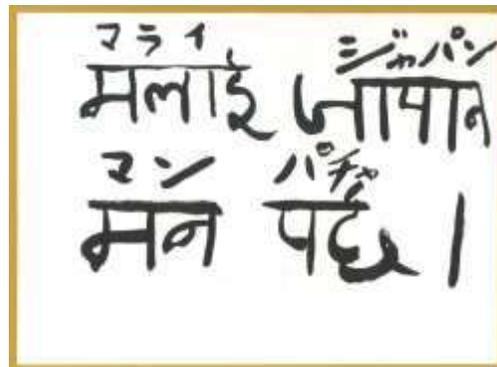
オラリア リザさん (フィリピン)

「みんな仲良く」をタガログ語で書きました。みんなが笑顔になるといいと思います。



寺崎 一彰さん (フィリピン)

私は介護福祉士目指して日本へ来ました。一人暮らしの生活中で大変なこと・苦しいこともあります。いつもいろいろな人のおかげで介護について学ぶことができ、心から日本が大好きです。



レグミ バガル スジャナさん (レグミ
バガル スジャナ)

「大家都是朋友」と書きました。みんなが友達になって楽しく暮らせたらいいと思います。



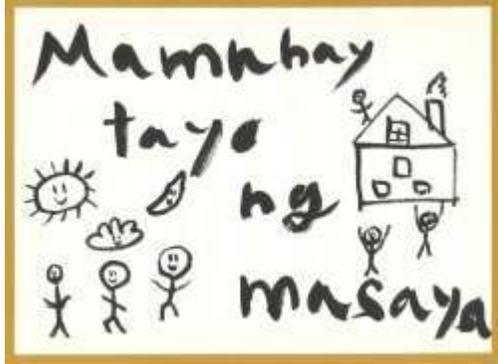
李 庚哲さん (中国)

私はお母さんがとても愛する。私はお母さんのおかげでここにいるので初恋です。私の一番最初の先生でもあります。子どもの時からいろいろ教えたりしている。お母さんへの愛死んでも続きます。



オリ ゴビンダさん (ネパール)

楽しく暮らす「Mamnhay tayo ng masaya」と書きました。初めてタガログ語を調べて、「Masaya」が楽しいという意味だと知り、面白いなと思いました。



白濱 光瑛さん (フィリピン)

国は違うけどheartは一緒。みんな大切な一人一人。みんな違うからみんなスペシャル。😊人は1人では生きていけない、、手をつなげると温かくなるheart♡



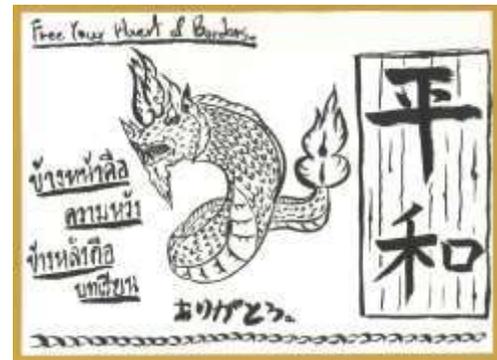
張 美永さん (韓国)

人間だけのために国が決まっています。蝶だったらどこでも自由に行けます。私たちが蝶だったらいいなと思って書いた作品です。



パラ ズリ スニタさん (ネパール)

タイ語で書いているのは、私が好きな言葉です。未来は「希望」、過去は「経験」という意味です。竜は、タイ語でパヤーナクと言います。パヤーナクは大きな蛇です。タイでは、水と自然は神聖なものです。お寺にあるパヤーナク像は、平和という意味です。



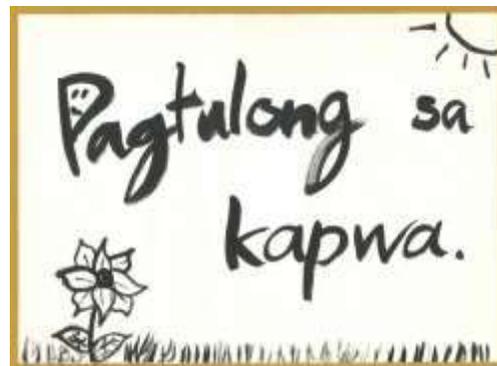
ラオト バンナソンさん (タイ)

「共存共栄」という四字熟語の意味は、二つ以上のものが互いに敵対することなく、助け合って生存し、ともに栄えるという意味です。世界中のみんなが助け合えるといいなと思い、世界地図と「共存共栄」という四字熟語を書きました。



崔 要韓さん (韓国)

助け合い「Pagtulong sa kapwa」と書きました。助け合いと助け合うは違う言葉だということを初めて知りました。



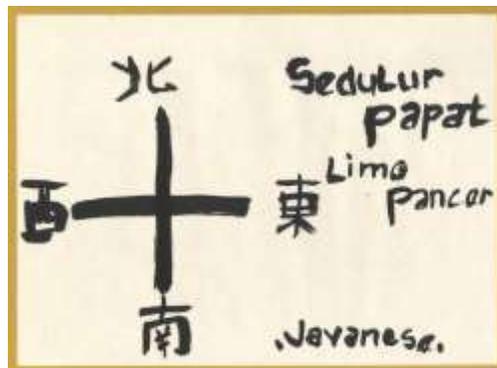
オラリア リザさん (フィリピン)

「多文化」を英語で書きました。いろいろな国の人々が楽しく暮らせるといいと思います。



山本 綾音さん (フィリピン・韓国)

ジャワ語です。私が好きなことばです。



Adi prasetyonoさん (インドネシア)

「みんな仲良く」をタガログ語で書きました。地球の人が仲良くならんでいるところを描きました。



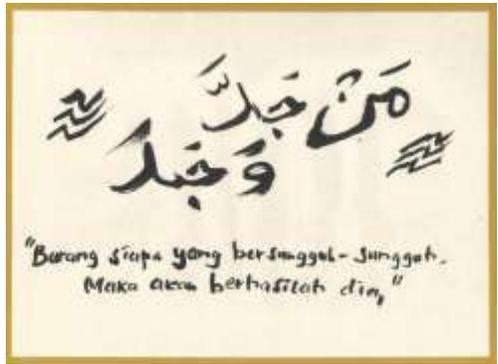
寺崎 一彰さん (フィリピン)

いろんな外国語は全部「愛」と読みます。この愛は、世界中の人たちが愛し合ってほしいという気持ちで、世界のいろんな愛を書いてみました。



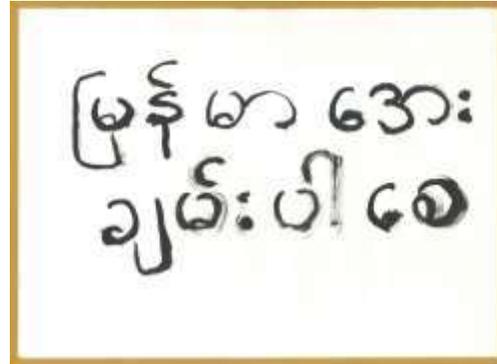
崔 允愛さん (韓国)

アラビア語とインドネシア語で書きました。「真剣に努力する人は絶対に達成する/乗り越えることができる」



ディカ バタラ ノフェンドラさん (インドネシア)

ミャンマーの平和を願っている文書です



NAING KO KO TUNさん (ミャンマー)

日本に来てからたくさんの方に助けられ、仲がいい友達もできました。今の生活がとても楽しいです。



福島 聡太さん (中国)

多文化社会という言葉と、地球の絵をかきました。地球は一つという気持ちを表しています。



有吉 夢翔さん (フィリピン)

Free Your
Heart
of Borders.

たくさんのご応募、ありがとうございました！
これからもSPIRAのこと、よろしくお願いします！

佐賀県国際交流協会 スローガン (職員作)